

しんきゆうしき  
進級式



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 16・29～33

世に勝つ者

あなたがたは、この世ではなや  
みがある。しかし、勇氣を出しな  
さい。わたしはすでに世に勝って  
いる。 ヨハネ 16・33

目標

キリストにあって、世の困難を  
乗り越える勇氣を持つ。

4月6日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 16・33

勇氣を出しなさい。わたしはすでに  
世に勝っている。 33節

今日のみことばは、「勇氣を出しなさい」とい  
うイエス様のことばです。どうして勇氣を出さ  
ないといけないの？ それは、わたしたちが「世」  
と戦って乗りこえないといけないから。「世」  
というのは、ここでは神様からわたしたちを引  
きはなす力のことです。神様を忘れさせる誘惑。  
神様なんて信じない！と思わせるようなつらい  
こと。わたしたちは心の弱い人間ですから、  
「世」の力に負けてしまいそうになります。ど  
～しよう…。でも大丈夫。今週は、イエス様が  
「世」に負けない本当の勇氣を教えてください  
よ！

いのちの祈り 天のお父様、「世」の力に負けない勇氣  
について、教えてください。

4月7日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 16・29～30

あなたが神からこられたかたである  
と信じます。 30節

イエス様が十字架にかかれる前の日。イエ  
ス様は、最後まで弟子たちを愛して教えられま  
した。弟子たちは、「イエス様はこれからどうな  
るのだろう…」と不安がありましたが、イエス様  
の教えに感動して、「イエス様は神様がつかわ  
した救い主だ！」とはっきりとわかって勇氣がわ  
いてきました。そして「あなたが神様からつか  
わされたお方だと信じます！」と告白したので  
す。

まず、イエス様が神様からつかわされた救い  
主だと信じる。これが、わたしたちの勇氣の  
元となるのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様が神様からつかわ  
された救い主だと心から信じます。

4月8日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ 16・29～31

あなたがたは今信じているのか。 31節

イエス様は弟子たちに、「あなたがたは今信  
じているのか」と言われました。弟子たちは、  
イエス様が神様からつかわされたお方だと信じ  
ていました。でも、これからイエス様が十字架に  
つけられ、復活されることはわからず、信じて  
いなかったのです。

救い主イエス様はあなたの罪の身がわりに  
十字架につけられ、復活されました。このこと  
を信じるのが一番大切なことです。何となく信  
じるのではなく、十字架と復活をはっきりと信  
じなくちゃ！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様がわたしの罪の身  
がわりに十字架につけられ、復活された  
ことを信じます。

## 4月9日（水）



ヨハネ 16・31～32

わたしをひとりだけ残す時が来るであ  
らう。 32節

続けてイエス様が言われたことばに、弟子た  
ちは大ショック！これからイエス様は逮捕さ  
れて、弟子たちはイエス様を見すててにげて行  
くというのです。

でも、一番つらかったのはイエス様。いつも  
そばにいた、大好きな弟子たちに見すてられる  
とわかっていたのですから…。それなのにイエ  
ス様はつらい気持ちを乗りこえられました。す  
べてをわかっていても、弟子たちに最後までや  
さしく教え、勇気を出して十字架に向かわれた  
のです。これよりすごい勇気はありません。

**いの 祈り** てん とうさま  
天のお父様、イエス様の勇気をわたしにも  
あたえてください。

## 4月10日（木）



ヨハネ 16・31～32

わたしはひとりではない。  
父がわたしと一緒におられるのであ  
る。 32節

イエス様が勇気を出すことができたのは、父  
なる神様がいつも一緒におられるとわかってい  
たからです…。しかし、十字架にかかれる時は、  
父なる神様にもすてられなければなりませんで  
した。あまりにつらく、苦しいことでした。そ  
れでも父なる神様を信頼し、すべてをお任せし  
て、十字架の死も乗りこえられたのです。

このイエス様が、今はあなたと一緒にいてく  
ださい。イエス様があなたの身がわりにす  
てられてくださったので、あなたがすてられる  
ことは決してありません。

**いの 祈り** てん とうさま  
天のお父様、イエス様がわたしの身がわり  
にすてられてくださり、今は一緒にいてく  
ださることを心から感謝します。

## 4月11日（金）



ヨハネ 16・31～33

これらのことをあなたがたに話した  
のは、わたしにあって平安を得るため  
である。 33節

十字架の苦しみ、死さえも乗りこえられたイ  
エス様。それは、「世」の誘惑や苦しみに負けそ  
うなわたしたちに、平安をあたえてくださるた  
めだったのです。

「世」との戦いがなくなるわけではありません。  
でも、たとえ戦いがあっても、「イエス様が  
いっしょにいて助けてくれるから、大丈夫！」  
という平安があたえられるんですよ。何があ  
っても大丈夫。こんな平安をくださるのは、イエ  
ス様だけです。

**いの 祈り** てん とうさま  
天のお父様、イエス様だけがあたえてくだ  
さる平安を、わたしにもください。

## 4月12日（土）



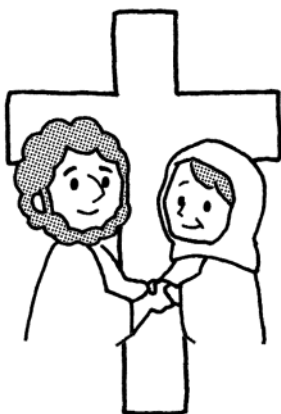
ヨハネ 16・29～33

あなたがたは、この世ではなやみが  
ある。しかし、勇気を出しなさい。わ  
たしはすでに世に勝っている。 33節

わたしたちの生活は、「世」との戦いの連続。  
でも、イエス様は、「わたしはすでに世に勝って  
いる！」と言っておられます。イエス様、勝利宣  
言！すべての誘惑、苦しみに打ち勝ったイエス  
様は無敵です。この世の誰も、何も、イエス様  
には勝てません。「イエス様、助けてください、力  
をください」といつでもどんな時も頼ろう！イ  
エス様に頼って生きることが本当の勇気なので  
す。イエス様の力によって、「世」に勝利する  
体験をしよう！

**いの 祈り** てん とうさま  
天のお父様、イエス様に頼って生きる本当  
の勇気で、世の戦いに勝利していけます  
ように。

しゅろ ひ  
棕櫚の日



せい しゅ  
聖書  
テ マ  
暗唱聖句

ヨハネ 19・23～30

十字架による 新しい絆

ごらんなさい。これはあなたの母です。

ヨハネ 19・27

神との関係、人との関係を変える十字架の力を知る。

ちく ひょう  
目標

4 月 13 日 (日)

せい しゅ  
聖書  
せい い  
聖句

ヨハネ 19・23

兵卒たちはイエスを十字架につけてから、その上着をとって四つに分け、  
23節

今日は棕櫚の日。イエス様が十字架にかかれる受難週のはじまりです。イエス様の十字架を深く心に思いながらすごしましょう。

イエス様は逮捕され、裁判にかけられ、あつという間に死刑判決をうけてしまいました。そして十字架にはりつけにされ、着ていた着物まではぎ取られてしまったのです。そんな苦しみの中にいるイエス様を、何人かの人が、そばで見つめていました。

今週は、十字架の上のイエス様と、十字架のそばにいた人々の場面から学びましょう。

いの  
祈り

天のお父様、今週は特に、十字架の上のイエス様を思いながらすごせますように。

4 月 14 日 (月)

せい しゅ  
聖書  
せい い  
聖句

ヨハネ 19・23～24

彼らは互にわたしの上着を分け合い、わたしの衣をくじ引きにした。  
24節

イエス様のそばにいた人たち、それはまず、イエス様を十字架につけた兵卒たち。彼らは、イエス様の着物をはぎ取り、分けたり、くじ引きをして自分たちのものにしていました。なんてひどいことを！とおもってしまいますが、彼らのしたことは旧約聖書の詩篇22・18で預言されていたのです。

兵卒たちは、苦しんでいるイエス様を見ても興味なし。しかし、こんな彼らのことをもイエス様は愛して、十字架にかかれたのです。

いの  
祈り

天のお父様、十字架のイエス様に興味をもたない人も愛してくださる、イエス様の愛を感謝します。

4 月 15 日 (火)

せい しゅ  
聖書  
せい い  
聖句

ヨハネ 19・25

イエスの母と、母の姉妹と、クロパの妻マリヤと、マグダラのマリヤとが、  
たたずんでいた。  
25節

イエス様のお母さんのマリヤ、女性の弟子たちもイエス様のそばにいました。兵卒たちとはまったくちがひ、悲しみながら十字架の上のイエス様を見つめていたのです。

イエス様の十字架は、あなたの罪の身がわりです。自分の罪のせいで、イエス様がこんなに苦しめられたなんて、悲しくてたまらないでしょう。でも、それは大切な悲しみ。罪に本当に気づいて悲しくなった時、イエス様に心から「ごめんなさい、ありがとう」が言えるのですから。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様の十字架はわたしの罪の身がわりです。イエス様、本当にごめんなさい。そして、ありがとうございます！

## 4月16日（水）



ヨハネ 19・26

婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です。 26節

十字架のイエス様のそばに、弟子のヨハネもいました。イエス様は、はげしい苦しみの中、母マリヤとヨハネをご覧になりました。そして、マリヤに対して「婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です」と言われたのです。「あなたの子」とはヨハネのこと。「ヨハネはあなたの子です」ということです。

マリヤは、イエス様という大切な息子を失おうとしていました。イエス様は悲しむマリヤを思いやり、これからはヨハネが息子です、と言われたのです。ご自分が苦しい時なのに、何というあたたかい愛でしょう！

**いのちの祈り** 天のお父様、苦しみの中でも人を思いやる、イエス様の愛におどろきます。わたしもそのような愛を持てますように。

## 4月17日（木）



ヨハネ 19・26～27

それからこの弟子に言われた、「ごらんなさい。これはあなたの母です」。 27節

イエス様は続けてヨハネにこう言われました。「ごらんなさい。これはあなたの母です」。「あなたの母」とはマリヤのこと。「マリヤはあなたのお母さんです」ということです。お母さんをあなたに頼んだよ、とヨハネに任されたのです。

イエス様は、新しい家族をつくられました。イエス様を信じる人すべては、神の家族とされるのです。教会では「兄弟姉妹」と呼びあいますね。それは神の家族だからです。イエス様の十字架から、神の家族が始まったのです。

**いのちの祈り** 天のお父様、イエス様を信じたなら、神の家族となれることを心から感謝します。

## 4月18日（金）



ヨハネ 19・28

そののち、イエスは今や万事が終ったことを知って、 28節

弟子のヨハネに母マリヤを任せられ、新しい神の家族をつくられたイエス様。十字架の救いの使命を、すべてやりとげられました。

イエス様が十字架にかかれたのは、神様から離れていたわたしたちの罪がゆるされ、神様としっかりつながるため。そして、イエス様を信じる者同士が神の家族となるためだったのです。イエス様の十字架の力はすごいですね。ただ罪がゆるされるだけじゃない。ゆるされたことによって、神様のとの関係も、人との関係も、祝福されていくのです！

**いのちの祈り** 天のお父様、イエス様の十字架は、神様との関係も人との関係も祝福してくださることがわかりました。感謝します。

## 4月19日（土）



ヨハネ 19・23～30

「すべてが終った」と言われ、首をたれて息をひきとられた。 30節

「すべてが終った」とは、「十字架の救いは完了した！」というイエス様の勝利宣言です。イエス様は完璧に使命を果たされ、息を引きとられたのです。

ご自分を十字架につけ、着物をはぎとる兵卒を愛し、母マリヤを思いやるイエス様。苦しみの十字架からは、愛だけがあふれていました。神の家族となったわたしたちが、イエス様のようになんか愛することができるよう祈りましょう。わたしたちが愛するなら、神の家族に仲間入りする人が次々と起こされていきます！

**いのちの祈り** 天のお父様、イエス様のようになんか愛することができるよう。神の家族に仲間入りする人々が起こされますように。

イースター



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 20・11～18  
復活の主との出会い  
女よ、なぜ泣いているのか。だ  
れを捜しているのか。

目標

ヨハネ 20・15  
悲しみの涙を取り除く、復活の  
キリストに出会う。

4月20日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 20・11～18  
女よ、なぜ泣いているのか。

13節

あなたが今までで一番つらくて、悲しくて、  
いっぱい泣いて、いっぱい涙を流したのはど  
んな時だったのでしょうか？ ここでマグダラの  
マリヤは、こんな悲しいことがあるかしらと、  
涙、涙で、泣き続けたのです。それは大好き  
な、愛するイエス様が十字架につけられて死ん  
でしまい、お墓におさまられたのに、三日目  
に行ってみると、イエス様のおからだがないので  
す。「女よ、なぜ泣いているのか」と声をか  
けられたのは、復活の主だったではありません  
か！

いの  
祈り

天のお父様、イースターをありがとうご  
ざいます。復活されたイエス様は悲しみ  
の涙をふき払ってくださり感謝します。

4月21日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 20・11～12  
しかし、マリヤ墓の外に立って泣い  
ていた。 11節

空っぽのお墓をのぞきにやってきたのは、ペ  
テロとヨハネだったのです。ペテロと言えば…  
そう！ もう、だれもがみとめるイエス様の  
一番弟子でしたよ。ヨハネとえば、「イエス  
の愛しておられた弟子」と自分で言うくらい、  
イエス様に愛され、そしてイエス様を愛してい  
たお弟子さんでした。この二人は、「よくわか  
らない」と首をかしげながら家に帰って行きま  
した。しかし、マリヤは墓から離れられなくて、  
ずっと墓の外に立って泣いていたのです。

いの  
祈り

天のお父様、マリヤはだれよりもイエス  
様を愛していたのだとよくわかりまし  
た。私もそうありたいです。

4月22日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ 20・13  
だれかが、わたしの主を取り去りま  
した。そして、どこに置いたのか、  
わからないのです。 13節

涙でうるむマリヤの眼に映ったふたりの白  
い衣を着た御使い。ひとりはイエス様の死体  
の置かれていた頭の方に、ひとりは足の方に  
すわっていて、マリヤに言いました、「女よ、  
なぜ泣いているのか」と。マリヤの心はイエ  
ス様への熱い愛でいっぱいです。「だれかが、  
わたしの主を取り去りました」と言うマリヤ。  
「イエス様は、わたしの主なのです。だれかが  
取り去ってしまって、どこに置いたのかわから  
ないのです」と、泣く以外に何もできません。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様をマリヤは「わ  
たしの主」と言いました。私にとって  
もイエス様は「私の主」です。

## 4月23日（水）

聖書  
聖句

ヨハネ 20・14～15

もしあなたが、あのかたを移したの  
でしたら、どこへ置いたのか、どう  
ぞ、おっしゃって下さい。わたしが  
そのかたを引き取ります。 15節

御使いたちにマリヤが話していると、マリヤ  
のうしろに復活のイエス様が立たれました。う  
しろをふり向いたマリヤの眼は、まだ涙でく  
もっていて、それがイエス様とは全然わかりま  
せん。「女よ、なぜ泣いているのか。だれを捜  
しているのか」と、園の番人がたずねていると  
思っ、「わたしがそのかたを引き取ります」  
と言ったのです。そのマリヤの熱い愛の言葉を  
聞かれたイエス様は、どんなにうれしかったで  
しょう！

いの  
祈り

天のお父様、マリヤがどんなにイエス様  
を愛していたかよくわかります。私も  
それほどにも愛したいです。

## 4月24日（木）

聖書  
聖句

ヨハネ 20・16

イエスは彼女に「マリヤよ」と言わ  
れた。 16節

イエス様はマリヤの愛をひしひしと感じて、  
心をこめて、愛をこめて、マリヤの名前を呼ば  
れました、「マリヤよ」と。聞きなれた、なつ  
かしい、愛するイエス様に名前を呼ばれて、マ  
リヤはハッとふり返って、とびつきたいような  
思いで、「ラボニ」（先生！）と言ったのでし  
た。悲しみの涙は、一気に乾いてしまいました  
た。よみがえられたイエス様は、今も生きてお  
られ、私たちの名前も呼んでくださるので  
す。悲しみの涙もぬぐってくださいます。

いの  
祈り

天のお父様、小さな私の小さな愛もイ  
エス様は喜んでくださり、名前を呼ん  
でくださり感謝します。

## 4月25日（金）

聖書  
聖句

ヨハネ 20・17～18

マグダラのマリヤは弟子たちのと  
ころに行って、自分が主に会ったこ  
と、またイエスがこれこれのことを  
自分に仰せになったことを、報告し  
た。 18節

ほう・れん・そうー 「エ？ ボク、ほうれん  
草きらいだよ」という子がいますか？ このほ  
う・れん・そうとは、「報告」「連絡」「相談」の  
ことで、人と人との間の交わりでは、とても  
大切ですよという意味です。神様と人との間も  
そうなのですね。マリヤは自分が主に会ったこ  
とを、まず、報告しました。弟子たちはオドロ  
キだったでしょう。イエス様にお会いした話を、  
「あかし」と言います。とても感動ですよ。

いの  
祈り

天のお父様、私もイエス様にお会いし  
た人のあかしを聞いて、イエス様のこと  
をもっと知りたいです。

## 4月26日（土）

聖書  
聖句

エレミヤ 29・10～14

あなたがたはわたしを尋ね求めて、  
わたしに会う。 13節

マグダラのマリヤのことを考えると、きよ  
うの聖書のみ言葉を思い出します。マリヤは、  
愛するイエス様を尋ね求めました。本当に他の  
ことは何もかも忘れて、「一心に」イエス様を  
たずね求めましたね！ そして、とうとう、よみ  
がえられたイエス様に、他のだれよりも一番先  
にお会いできたのでした！ あなたもイエス様  
にお会いしたいですか？ どれくらい熱心にも求  
めていますか？ 教会学校で一心にお話を聞  
き、お家でも聖書を読んでお祈りをしてみてく  
ださい。

いの  
祈り

天のお父様、マリヤのように、私もイ  
エス様にお会いしたいので、ますます  
教会学校に励んでいきます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句  
目標

創世記1・1～31  
天地創造  
はじめに神は天と地とを創造された。  
創世記1・1  
天地創造の神を信じる。

4月27日（日）

聖書  
聖句

創世記1・1～31  
はじめに神は天と地とを創造された。  
1節

入学、おめでとう！ 進級、おめでとう！  
桜の花や、チューリップの花といっしょに  
写真を写してもらいましたか？ 本ほんにうれし  
い春ですはるね。とてもきれいなたくさんのお花や、  
ぽかぽか暖かい太陽の光や、サラサラ髪をな  
でていくそよ風や、緑の木や草、澄んだ青い空  
にぽっかり浮かぶ白い雲。一体、いいつどうやっ  
てできたのかしらと思いませんか。実はこのす  
ばらしい天と地は神様によって造られたので  
す。何もないところに、み言葉によってです！

祈り

天のお父様、あなたが、はじめに天と地  
にあるすべてのものをみ言葉によって  
造られたことを信じます。

4月28日（月）

聖書  
聖句

創世記1・3～5  
神は「光あれ」と言われた。する  
と光があった。  
3節

やみ、やみ、くらやみ、まっくらやみ。そこ  
に突然、神様のみ言葉でした、「光あれ」。  
すると光がありました！ 神様はその光をご  
らんになって、「良し」と満足されたのです。  
神様はその光とやみとを分けられました。そ  
して光を昼と名づけられました。やみを、夜と  
名づけられました。はじめに神様のみ言葉で造  
られたのは、「光」だったのですね。み言葉の  
力ってすごいですね。夕となって、また朝と  
なりました。これが第一日目のことでした。

祈り

天のお父様、やみのただ中に、あなたが  
「光あれ」と言われると光がありました  
た。み言葉の力に感動します。

4月29日（火）

聖書  
聖句

創世記1・6～8  
神はまた言われた、「水の間にお  
おぞらがあって、水と水とをわけよ」。  
6節

二日目は？ 神様は「おおぞら」を造られま  
した。水と水の間に「おおぞら」です。です  
から、おおぞらの下の水と、おおぞらの上の水  
とが、おおぞらによって分けられたのです。そ  
の造られた「おおぞら」を、神様は「天」と名  
づけられました。どこまでも、どこまでも青い  
空を見つめたことがありますか？ 何だか吸い  
込まれていきそうですね。神様がお造りにな  
られた「天」は、何て雄大なのでしょうか！ 神様  
のおこころもきつとおおぞらのよう！

祈り

天のお父様、あなたが造られた水と水の  
間のおおぞらは、まるであなたのおこ  
ころをあらわしているようです。

## 4月30日（水）

聖書  
聖句

創世記1・9～13

神はまた言われた、「天の下の水は一つ所に集まり、かわいた地が現れよ」。

9節

では、三日目は？ 天の下の水を一つ所に集められたのです。するとそこにかわいた地が現れました。神様は、そのかわいた地を「陸」と名づけられました。そして、水が集まった所を「海」と名づけられたのです。ワーイ！「海」だ！ 神様はごらんになって満足されました。三日目にはそれらだけでなく、地に青草と、種をもつ草と、種類にしたがって種のある実を結ぶ果樹とをはえさせたのです。みんなの大好きなフルーツは三日目に造られました！

祈り 天のお父様、あなたのほんの一言で、数え切れないほどのフルーツが造られたかと思うと、ただ驚くばかりです。

## 5月1日（木）

聖書  
聖句

創世記1・14～19

神はまた言われた、「天のおおぞらに光があつて昼と夜とを分け、しるしのため、季節のため、日のため、年のためになり、天のおおぞらにあつて地を照らす光となれ」。

14～15節

はい、四日目ですよ。四日目にやっと、昼の大きい光、つまり太陽を造られ、夜の小さい光、月が造られました。それにまたまた、数え切れないほどの星を造り、天のおおぞらに、宝石のようにちりばめられたのでした！これらの光で、一日一日、一週間、一週間、一ヶ月、一ヶ月、一年一年、春夏秋冬が刻まれていくのです。何と驚くべき神様が造られた天の法則なのでしょう！

祈り 天のお父様、このような天体をあなたは造られただけでなく、今もちゃんと保っておられるのがスゴイです。

## 5月2日（金）

聖書  
聖句

創世記1・20～23

神はまた言われた、「水は生き物の群れで満ち、鳥は地の上、天のおおぞらを飛べ」。

20節

次、五日目は？ 水の中の生き物と、天のおおぞらを飛ぶ鳥たちですよ。水と言っても、海水、つまりしょっぱい水の中に泳ぐものと、しょっぱくない真水の中にいるものとはまたちがいますよね。さあ、水の中にいる生き物たちの名前、いくつ言えますか？ 大空を飛ぶ鳥たちの名前は？ 種類別に言ってくださいと言われると、ちょっと大変です。動物図鑑がいりますね。神様はよしとされ、祝福して、「生めよ、ふえよ、海の水や地にふえよ」と言われました。

祈り 天のお父様、あなたの一言で、海や水の生き物。空飛ぶ鳥たちのすべてが造られたと知り、圧倒されてしまいます。

## 5月3日（土）

聖書  
聖句

創世記1・24～25

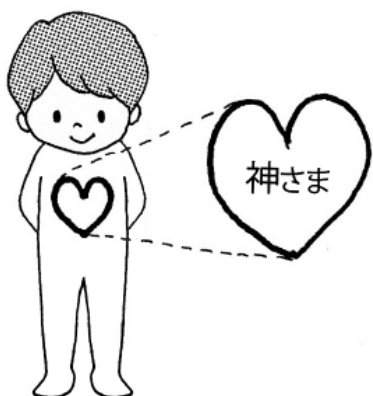
神はまた言われた、「地は生き物を種類にしたがっていだせ。家畜と、這うものと、地の獣とを種類にしたがっていだせ」。

24節

さあ、六日目です。どんなものが造られたと思いますか？ あなたのペットたちですよ！家畜や這うものや、地の獣たちを、種類にしたがっていだせと地に向かって言われたら、そのようになりました。これまた考えられないほどの種類、それに一匹一匹が、何て複雑に細かく驚くばかりによくできていること！神様がよしと満足されたのですから。そして、最後に、神様のかたちにかたどられた人間が造られました。

祈り 天のお父様、ありとあらゆる動物たちがあなたの言葉で造られたのだと思うと、み言葉のわざをほめたたえます。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記1・26～31

人間の創造

神は自分のかたちに人を創造された。  
神と共に歩むように造られた者であることを知り、神との交わり

目標

5月4日(日)

聖書  
聖句

創世記1・26～31

神は自分のかたちに人を創造された。 27節

赤ちゃんが生まれてくる前に、お母さんはいろんなものを用意します。ちょうどそのように、神様は私たち人間を造られる前に、世界のゼーんぶを造っていただきました。さあ、私たち人間の番です！「地は人間をいさせ」って言われてできたものではありません！なんと、人間は特別なかたちに造られました。「神のかたち」にですよ。しかも男と女とに造られたのです。他のものと全くちがう特別な方法でね。今週は、そのルーツをさぐることにしましょう。

祈り

天のお父様、私たち人間をスペシャルな方法で、あなたのかたちに造られたことを知り、とても興味深いです。

5月5日(月)

聖書  
聖句

創世記1・26、2・7

主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。2・7

どろまんじゅうとか、どろ人形とかこねて作ったことがありますか？神様は土のちりで人の体を造られました。うわあ、どろ人間だ。ちり人間だ。そしてその鼻に、「フーッ！」って、命の息を吹き入れたのです。すると、どうでしょう！ちりやどろの固まりの人が、動き出し、生きた者となったではありませんか！わたしたちがどろ人形に息を吹き入れてもダメでしょう？でも神様の命の息パワーは、なんてスゴイのでしょうか。ちり人間が生きたのです。

祈り

天のお父様、私たちのルーツはちりでした。でもあなたの命の息で生きた者となったのですから感動です。

5月6日(火)

聖書  
聖句

創世記1・27、2・18～25

主なる神は人から取ったあばら骨でひとりの女を造り、人のところへ連れてこられた。 2・22

「人」という漢字は二人の人が寄り添っているみたいでしょう？神様は、人がひとりであるのはよくないから、ふさわしい助け手を造ろうと思われました。そこで神様は人を深く眠らせて、その時、そのあばら骨の一つを取られて、それでひとりの女を造られたのです。へエ、女は男のあばら骨だったんだ！神様に連れてこられた女を見て、人は、「これこそ、ついにわたしの骨の骨、わたしの肉の肉」と叫びました。その時が人間の結婚の始まりでした。

祈り

天のお父様、男も女も神の息の吹き込まれた、神のかたちに造られた、尊い存在とわかり、心より感謝します。

## 5月7日（水）

聖書  
聖句

創世記1・28

神は彼らを祝福して言われた、「生  
めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従  
わせよ」。 28節

神様はご自分のかたちにつくられた人、男と  
女をとっても喜び、祝福して言われました、  
「生めよ、ふえよ、地に満ちよ」って。人がど  
んどん増えていくことを喜び、祝福されたの  
です。そして、「地を従わせよ」とも言われま  
した。つまり、海の魚や、空の鳥や、地に動く  
すべての生き物を治めなさいとね。人にはそれ  
ほどの力を神様が与えておられたのですね。  
ライオンとか象とかも、小さなネズミなんかも  
みんな、人の言うことを聞いたのでしょね！

いの  
祈り

天のお父様、はじめの人たちをあなたは  
大いに喜び、祝福されたことを知りま  
した。あなたは祝福の神様です。

## 5月8日（木）

聖書  
聖句

創世記1・29～31

神はまた言われた、「わたしは全地の  
おもてにある種をもつすべての草と、  
種のある実を結ぶすべての木とをあ  
なたがたに与える。これはあなたがた  
の食物となるであろう」。 29節

ここにははじめの人たちが何を食べていた  
かが書かれています。全地のおもてにある種を  
もつすべての草と、種のある実を結ぶすべての  
木とを与えると神様がおっしゃったのです。と  
いうことは、葉っぱと、フルーツと、木の实ばっ  
かり？ 他の鳥や獣や動物たちには青い草ば  
かり与えられたみたいです。「ヒヤーツ、今の  
時代でよかったよ、野菜は苦手でやっぱり  
肉！」と思うかしら？

いの  
祈り

天のお父様、あなたは愛と祝福の思い  
いっぱい、人の健康のために食べ物を  
与えられたのだと信じます。

## 5月9日（金）

聖書  
聖句

創世記2・1～4

神はその第七日を祝福して、これを  
聖別された。 3節

完成！ いつでも何でも、完成した時には、  
心が満足感と達成感と幸福感とでいっぱいにな  
るでしょう？ あなたは何を完成させた時そ  
う思いましたか？ プラモデル製作？！ ビーズ  
手芸？！ ここで、神様は、天と地とその中のす  
べてのものとを造り終えられて、完成したので  
した。毎日毎日、「良くできた！」と満足され  
ながら六日間、なしとげられたのですから  
大安心！ 大歓喜！ そこで七日目をお休みに  
なり、祝福し、聖別され、特別な日と定めら  
れました。

いの  
祈り

天のお父様、日曜日は、週に一度あな  
たを礼拝する大切な日ですが、その始ま  
りがよくわかりました。

## 5月10日（土）

聖書  
聖句

Iヨハネ1・1～10

わたしたちの交わりとは、父ならび  
に御子イエス・キリストとの交わり  
のことである。 3節

「主に交われれば赤くなる」ということわざを  
知ってますか？ 「私たちはだれと遊ぶか、一  
緒にすごすかによって、その人のようになって  
いきますよ」という意味です。神のかたちに造  
られたわたしたちにとっては、「主に交われば  
きよくなる」ということです！ わたしたちには  
父なる神様との交わり、主なる御子イエス・  
キリストとの交わりが与えられているのです。  
イエス様の十字架によって罪ゆるされて、神様  
とのきよい交わりが与えられます。

いの  
祈り

天のお父様、あなたが愛をもってあなた  
のかたちに造られたわたしと、交わりつ  
づけてくださり感謝します。

## 母の日



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

エペソ 6・1～4

両親に従う

子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。エペソ 6・1  
主にあって両親に従う者となる

目標

## 5月11日（日）

聖書  
聖句

エペソ 6・1

子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。1節

毎年五月の二番目の日曜日は母の日だね！  
1907年に、アンナさんというアメリカ人が、亡くなったお母さんの大好きだったカーネーションの花たばを教会に持って行ったのが、母の日の始まり！お母さんが亡くなったあとも、お母さんを大切に思う気持ちをわすれず、お母さんをよろこばせる方法をかんがえていたんだね。

あなたはとうですか？あなたを生んでくれたお母さんを大切にし、よろこばせようとしていますか？あなたはお母さんが生んでくれた命だからね！お母さんありがとう！

いの祈り

天のお父様、わたしを生んでくれたお母さんのことを大切にし、よろこばせる子どもでいさせてください。

## 5月12日（月）

聖書  
聖句

エペソ 6・1

主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。1節

むかしのユダヤ人たちはね、家族みんなで神様を信じていたし、神様のおしえを何よりも大切にしていたんだ。だから、お母さんが子どもに命をあげるのと同じくらい、みことばをあげることが大切だったんだ。家族みんなで神様を信じて信仰をバトンタッチしていけたらすばらしいけれど、今の世界は神様を信じていない人もたくさんいるもんね。

もし、あなたが家族のだれよりもいちばんに神様を信じているのなら、あなたから、お父さんやお母さんに信仰をバトンタッチできるようにお祈りし、神様のおしえを守ろう！

いの祈り

天のお父様、まずはわたしからあなたのおしえにしがいます。

## 5月13日（火）

聖書  
聖句

エペソ 6・1

主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。1節

イエス様は、神様のひとり子。わたしたちの救い主なのに、お父さんやお母さん、それだけでなくすべての人を愛し、大切にし、とうとう罪人のわたしたちのために命をすてられたね。どうして？なんでそこまで？そう思うよね。

理由は一つ。そうすることが神様のおしえから。イエス様はいつも、神様のご計画と意思を信じていたんだ。

イエス様が人を大切にされたのは、わたしたちもイエス様のお手本に従うためだね。

いの祈り

天のお父様、イエス様が地上のすべての人を愛し、大切に、仕えたお手本に、わたしも近づけますように。

5月14日(水)

聖書  
聖句

エペソ 6・2

「あなたの父と母とを敬え」。 2節

このおしえはね、イエス様が生まれるずっとずっと前から神様が決めていたものなんだ。

人生ではじめて「従うこと」や「そんなけいすること」はおうちの中から始まるでしょう。そこで、あなたは、両親からたくさんのおしえてもらい、学び、大きくなるよね。

やがて、あなたが大人になって、仕事をするようになったときに、「従うこと」ができていた人は目上の人にすなおに従うことができ、「そんなけいすること」ができていた人は、人を大切にできる大人になっていることでしょう。

祈り

天のお父様、わたしのはじめての目上の人、お父さんとお母さんから従うこともそんなけいすることも学び、良い大人になれますように。

5月15日(木)

聖書  
聖句

エペソ 6・3

そうすれば、あなたは幸福になり、地上でながく生きながらえるであろう。 3節

神様はね、あなたがいつも幸せでいられるようにとねがっていてくださるんだよ。神様が「こうしなさい」というときは、ただ、あなたをあやつりにんぎょうみたいにしようとしているわけではないんだ。従ってみてはじめて「あ〜神様信じて生きててよかったなあ」と思えるように、神様はしてくださるんだよ。

そんな幸せな人生を、あなたも自分の子どもに伝えていく日がいつかくるよ。

祈り

天のお父様、いつもわたしの幸せをねがっていてくださり、ありがとうございます。わたしも、未来のかぞくに伝えていきますように。

5月16日(金)

聖書  
聖句

エペソ 6・4

父たる者よ。子供をおこらせないで、主の薫陶と訓戒とによって、彼らを育てなさい。 4節

「え〜なんで子どもばっかり〜!」なんて思っていたあなた、だいじょうぶ! 神様は、子どもを育てる両親のせきにんはもっと大きいよ、と言われます。

もし、あなたの両親が神様を信じているなら、イエス様が愛してくれたようにあなたを愛し、また、イエス様のお手本のようにあなたのお手本となり、じょうずにあなたを育てなさい! そう言われているんだよ。

祈り

天のお父様、両親がわたしよりももっとたくさんの責任をおってわたしを育ててくれることを感謝します。

5月17日(土)

聖書  
聖句

エペソ 6・1

主にあつて両親に従いなさい。 1節

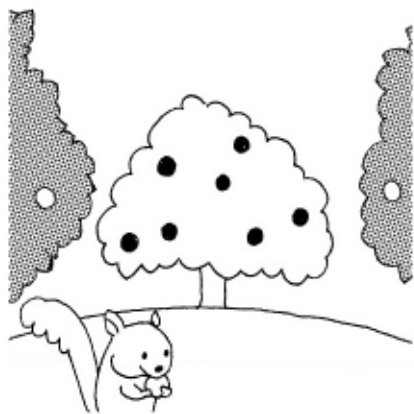
一週間、お父さんとお母さんに「従う」ことをかंगाえてきたけれど、どうでしたか?

とても悲しいことに、今は、子どもを育てないでほったらかしにする親、子どもをいじめる親、子どもをすてる親もたくさんいる時代です。

そんな親にどうやって従った? って思う子どもいるね。でもね、その子が今こうして生きているのは、やっぱりお母さんが苦しみながら生んでくれたからだし、生まれたからには、意味があるんだ、神様からの意味がね。もらった命、意味ある命に感謝しよう!

祈り

天のお父様、意味がある自分の命をくれた、あなたと両親に感謝をささげます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記2・15～17、3・1～7  
罪のはじまり  
善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると、きっと死ぬであろう。

目標

創世記2・17  
罪が不信仰から生まれることを知り、み言葉に信頼し、従う者となる。

5月18日（日）

聖書  
聖句

創世記2・15～17、3・1～7  
善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると、きっと死ぬであろう。 2・17

イエス様が両親に仕えられたということは、両親の言われることによく従われたということです。「これにはさわってはいけません」と言われるとさわりたくなる！「入ってはいけません」と書いてあると入りたくなる！それが私たち人間のやることでしょう。そういうことの始まりが今週のメッセージです。罪の始まりです。つまり神様の言いつけがちゃんと守れないところから罪が始まってしまいました。「きっと死ぬ」ということがわかっているのに。

祈り

天のお父様、イエス様があなたや両親の言葉に従いぬいたように、私もあなたのみ言葉を信じ従います。

5月19日（月）

聖書  
聖句

創世記2・15～17  
あなたは園のどの木からでも心のままに取って食べてよろしい。16節

百円払って、ドリンク飲み放題、五百円払って、焼き肉食べ放題なんて、「ウハ、ウハ！」ですよね。「もう満タンで、食べ切れな一い。別バラもいっぱい一い」だなんて、幸せでしょう？この人は、全くタダで、園の中にあるどの木からでも、思うまま、心のまま欲しいまま、食べたいまま取って食べることができたのです。たった一本の木だけを除いてね。エデンの園には一体何本の木があり、何種類の木の実がなっていたのでしょうか？！気が遠くなる？！

祈り

天のお父様、豊かなエデンの園の様子と初めの人の様子を想像します。あなたは本当に豊かな愛のお方です。

5月20日（火）

聖書  
聖句

創世記3・1  
園にあるどの木からも取って食べるなど、ほんとうに神が言われたのですか。 1節

へびが好きな子いますか？中には、へびにひどい事をしたりする子もいますが！へび、大っ嫌いの子が多いと思います。姿もくねくねしてすごく気持ち悪いし、毒を持っていたら大変ですものね。何年？何十年？何百年？かわかりませんが、幸せなエデンでの生活の中に、人を誘惑してきたのがへびでした。最も狡猾な野の生き物だったのです。ずる賢い、悪いやつでしたよ。だから神様の言葉を曲げて、神様は何て厳しいんだと言わんばかりに近づいたのです。

祈り

天のお父様、あなたのみ言葉を、ちゃんと心に貯えて、決して、曲げたり、だまされたりしないよう注意します。

## 5月21日（水）

聖書  
聖句

創世記3・2～3

これを取って食べるな、これに触れるな、死んではいけないからと、神は言われました。 3節

「伝言ゲーム」ってやったことありますか？最初に伝える人からまちがって伝えたりしたらみんなまちがえるし、次の人やその次の人が少しずつまちがえると、最後にはとんでもない文になってしまって、大爆笑ですね！ここでは笑ってなんかいられません。女は神様の言葉を違えて言ってしまいました。神様は、「きつと死ぬ」（2・17）と言われたのに、「死んではいけないから」と言われた、と答えました。神様の言葉はそのまま信じて従うべきなのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのみ言葉を変えたりしないように、そのまま受け入れ、信じ従っていただけるよう助けてください。

## 5月22日（木）

聖書  
聖句

創世記3・4～5

それを食べると、あなたがたの目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っておられるのです。 5節

へびはその女の不安気な、自信のない言葉をとらえて言いました。「いやいや、あなたがたは決して死ぬことなんかありませんよ。大丈夫、大丈夫！それを食べるとね、あなたがたの目が開かれるんですよ。そして、なんと、神のように善悪を知る者となることを神は知っておられるんですよ。だからね、取って食べてはいけないと言われたんです。でもね、決して死ぬことなんてありませんよ」と。とっても上手に女の心を揺り動かす誘い方でした。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのみ言葉だけに信頼していかなければならないということがよくよくわかってきました。

## 5月23日（金）

聖書  
聖句

創世記3・6

その実を取って食べ、また共にいた夫にも与えたので、彼も食べた。 6節

神様のみ言葉とはちがう言葉に耳を傾け、それを心に取り入れた結果、恐ろしい罪の誘惑が入りこんできましたね。耳の次には、今度は目ですよ。「女がその木を見ると、それは食べるに良く、目には美しく、賢くなるには好ましいと思われた」とあるとおりです。そしてついに！手に取って、「パクッ！」自分だけではいかなかった、そこに一緒にいた夫にも与えると、彼も、「パクッ！」と、ふたりして食べてしまったのです。何を見るか、ご注意ください！

いのちの祈り 天のお父様、胸がドキドキするような瞬間でした。この耳で聞くこと、この目で見ることに気がつけたいです。

## 5月24日（土）

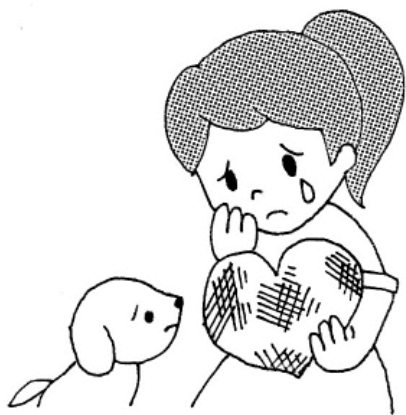
聖書  
聖句

創世記3・7

すると、ふたりの目が開け、自分たちの裸であることがわかったので、いちじくの葉をつづり合わせて、腰に巻いた。 7節

するとふたりはそこにバツリ倒れて死んでしまったのでしょうか？いいえ。むしろ、へびが言ったように、ふたりの目が開けたのです。でも見たものは、「うわあ、恥ずかしい、私たち裸なんだわ」。ふたりは急いで、いちじくの葉をつづり合わせて、腰に巻きつけました。神様とお交わりしていた時は、裸でも少しも恥ずかしいとは思わなかったのです。でも言いつけにそむいた結果、裸を恥ずかしく思い、その恥を隠そうとしたのです。神様の前には隠せないのね。

いのちの祈り 天のお父様、人類にこのようにして罪と死が入ってきました。あなたのみ言葉のみ信じ従えるよう助けてください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記3・6～19  
罪の結果  
罪の支払う報酬は死である

ローマ 6・23

目標

罪の結果の恐ろしさを知り、罪を悔い改める者となる。

5月25日(日)

聖書  
聖句

創世記3・6～19  
罪の支払う報酬は死である。

ローマ 6・23

お風呂掃除一回五十円、水まき一回五十円、お買物一回百円。お母さんからもらう「お小遣い」のことを、難しい言葉で「報酬」といいます。お母さんが支払ってくれるのです。きょうのみ言葉では、「罪」というご主人に仕えて、罪をどんどん犯し続け、罪のご主人に仕えて仕えていくと、終わりに何を支払ってくれるかという、「死」だということです！これは肉体の死もそうだし、何よりも魂の死、そして最後には神様から離れてしまう永遠の滅びという死なのです。

祈り

天のお父様、永遠の死ほど恐ろしいものはありません。どんな小さな罪も悔い改められるよう助けてください。

5月26日(月)

聖書  
聖句

創世記3・8～9  
主なる神は人に呼びかけて言われた、「あなたはどこにいるのか」。9節

あなたも何か悪いことをして、こそこそと隠れたことがありますか？お父さんの大切なものをこわして、隠れたり、お父さんの顔を見られなかったり——。ここで人とその妻とは、神様が日の涼しい風の吹くころ、園の中を歩いてこられる音を聞いて、神様の顔をまともに見られないで、避けて、園の木の間に隠れてしまったのです！神様はそんなふたりに「あなたはどこにいるのか」と呼びかけられます。今、あなたにも呼びかけておられるのです。

祈り

天のお父様、呼びかけてくださり感謝します。罪をおわびして、ちゃんとあなたの前にいる子どもにしてください。

5月27日(火)

聖書  
聖句

創世記3・10～11  
食べるなど、命じておいた木から、あなたは取って食べたのか。11節

人は、恐る恐る神様に答えました、「園の中であなたの歩まれる音を聞き、わたしは裸だったので、恐れて身を隠したのです」と。神様は言われます、「あなたが裸であるのを、だれが知らせたのか」。神様にはすぐにピンときたのでした。続けて言われます、「食べるなど、命じておいた木から、あなたは取って食べたのか」と。神様の目はごまかせません。何も神様から隠すことはできないし、だれも神様の目から隠れることはできないのです。

祈り

天のお父様、あなたがいつもすべてを見てくださることを忘れることなく、あなたの目の前に生活します。

## 5月28日（水）

聖書  
聖句

創世記3・12～13

わたしと一緒にしてくださったあ  
の女が、木から取ってくれたので、  
わたしは食べたのです。 12節

神様にズバリ！言い当てられて、人は答えま  
した、「あの女、あなたがわたしと一緒にして  
くださったあの女がくれたので、わたしは食  
べたのです」と。神様が、今度は女に「なん  
ということをしたのか」と言われると、女は、  
「へびです、へびがわたしをだましたので、そ  
れでわたしは食べたのです」と言いました。こ  
ういうのを罪のなすり合いと言います。何でも  
人のせいにするのです。人は女に、女はへび  
になすりつけ、へびは地面に、体をなすりつ  
けたんですって！

いの  
祈り

天のお父様、まさに罪を犯したふたりの  
罪まるだしの姿を知りました。あなた  
の前に正直であられますように。

## 5月29日（木）

聖書  
聖句

創世記3・14～15

おまえは、この事を、したので、す  
べての家畜、野のすべての獣のうち、  
最もものろわれる。 14節

罪を犯したふたりに対してももちろんです  
が、恐ろしい罪の結果をもたらした誘惑者へび  
に対しても神様は語られます。罪を犯させると  
いうことがどんなに大きな罪かが、よくわかり  
ます。「すべての家畜、野のすべての獣のうち、  
最もものろわれる」というのです。「お前は腹で、  
這いあるき、一生、ちりを食べるであろう」  
というのろいです。家畜や、野の獣が普通に  
持っている手も足もありません。四本足といっ  
た方がいいのかな？ 腹ではいあるき、ちりを  
食べるのです。

いの  
祈り

天のお父様、人を誘惑して、罪を犯させ  
ることは、最も大きな罪でのろわれる  
べきだとよくよくわかりました。

## 5月30日（金）

聖書  
聖句

創世記3・16

わたしはあなたの産みの苦しみを  
大いに増す。 16節

赤ちゃんが産まれる時の苦しみは、大変なも  
のです。お母さんが死ぬことだってあるし、赤  
ちゃんが死ぬことだってあるくらいです。そう  
考えると、わたしたちはみんな、「お母さん、  
そんなにも苦しい目をして、わたしを産んでく  
れて、本当にありがとう！」と言わなければな  
りませんね。もちろん「オギャーッ！」って無事、  
産まれた時の喜びは大きいのですが。その苦  
しみというのも、実は罪の結果だということが  
わかります。罪を恐れましょう。

いの  
祈り

天のお父様、女の人の子どもを産む時  
の苦しみも罪の結果なのろいだとか  
りました。罪は犯したくないです。

## 5月31日（土）

聖書  
聖句

創世記3・17～19

あなたは顔に汗してパンを食べ、つ  
いに土に帰る、あなたは土から取ら  
れたのだから。 19節

最後に神様は、人に言われました。たとえ女  
が木から実を取って彼に与えたとしても、やっ  
ぱりそれを食べてしまったのですから、同じく  
罪を犯してしまったことになるのです。人は、  
一生、苦しんで地から食べ物を取ることに  
なります。たしかに、農夫たちの苦しみも大変で  
す。寒い時、暑い時の労働は苦しいです。そし  
てついには、土から取られたので、ちりだから、  
ちりに帰っていくのです。朽ちる体となり、死  
が入りこんでしまったのです。

いの  
祈り

天のお父様、罪の結果がどんなにか厳し  
いものかを知りました。罪から、またそ  
の誘惑から、いつもお守りください。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記 3・14～24

救いの約束

主なる神は人とその妻とのために  
皮の着物を造って、彼らに着せ  
られた。 創世記3・21

目標

キリストによる救いを知り、救  
いを得る者となる。

6月1日(日)

聖書  
聖句

創世記3・14～24

主なる神は人とその妻とのために  
皮の着物を造って、彼らに着せられ  
た。 21節

皮の洋服持っていますか？ とても暖かくて、  
身体が守られますよね。何とここにはもうこの  
時に、人と妻とが皮の服を着ていたことがわか  
ります。それは、神様が彼らのために造られた  
ものでした。皮は、動物の皮です。何の動物だっ  
たのでしょうか？ 羊かな？ 山羊かな？ その  
動物は殺されて、血が流されたのです。このこ  
とは、罪がゆるされ、裸の恥をおおうためには、  
血が流されなければならないことを示していま  
す。これは十字架の主を示しているのです。

祈り

天のお父様、人と妻に皮の着物を造って  
着せたあなたが、天よりひとり子キリス  
トを救い主として送ってくださり感謝で  
す。

6月2日(月)

聖書  
聖句

創世記3・14～15

彼はおまえのかしらを砕き、おまえ  
は彼のかかとを砕くであろう。15節

人が罪を犯した、その時！ 神様はもうそこ  
で、救い主のことを預言されたのでした！ そ  
れがこの15節です。救い主は、女の子孫から  
生れるのです。罪を犯し、夫にも罪を犯させ  
た、その女の子孫からです。神様のご計画の  
すばらしさ！ 彼とは、メシヤ、救い主です。  
つまりイエス様は、おまえ、へび、つまり悪魔  
のかしら、頭を砕きます。決定的に打ちのめ  
すのです。悪魔はイエス様のかかとを砕く。す  
なわち、十字架にかかれるということです。

祈り

天のお父様、人が罪を犯したら、すぐに  
この救い主をお約束して下さり、その  
とおりにして下さり感謝します。

6月3日(火)

聖書  
聖句

ローマ3・9～18

義人はいない、ひとりもない。

10節

「ぼくが正しくて、君がまちがっているよ」、  
「わたしの方が正しいのよ、あなたが悪いわ  
よ」と、だれもが口をとがらせて言いません  
か？ ところが、聖書には何と書いてあります  
か？ 「義人はいない、ひとりもない」ですつ  
て。あなたも君も私も僕もみんな悪い、罪人！  
博士も秀才も美人もお金持ちもみんな罪人。  
義人、正しい人はひとりもないのです。最初  
のひと妻から生れた子も、またその子も、また  
その子のその子も全員残らず罪人です。

祈り

天のお父様、はじめの人が犯した罪は、  
その時以来、子々孫々に引き継がれてき  
ている事を認めるしかありません。

## 6月4日（水）



民数記21・4～6

へびは民をかんだので、イスラエルの民のうち、多くのものが死んだ。  
6節

「エーッ、一体それではどこに救いがあるの?!」って叫んでしまいますよね。では、その救いをいっしょに求めましょう。きょうの場面は、リーダーのモーセのもとにイスラエルの民が荒野を進んでいる時のことです。民はしんどくなって、神様とモーセにつぶやいて文句を言ったのです、「われわれをこの荒野で死なせる気か?!」と。神様は火のへびを送ったので、へびにかまれて多くの民がバタバタ死にました。罪人というのはまさにこういう人々です。

いの

祈り 天のお父様、生まれつきの人は皆、あなたにそむきつぶやき、罪の毒の中で何一つ良いことができない死人のようです。

## 6月5日（木）



民数記21・7～9

すべてへびにかまれた者はその青銅のへびを仰いで見て生きた。 9節

「ああ、モーセさん、ごめんなさい。私たちは主にも、あなたにも罪を犯しました。どうぞへびを取り去ってもらえるように主に祈ってください」と、民は必死でした。モーセがお祈りをすると、神様は言われました、「火のへびを造って、さおの上にかけなさい。へびにかまれた人がそれを仰いで見るなら生きる」と。モーセは青銅で一つのへびを造り、それを高くさおの上にかけました。その青銅のへびを仰いだ人は、なんと、生きた（!）のでした。

いの

祈り 天のお父様、へびにかまれた人々の救いは、ただあなたがモーセに造らせたへびを仰ぐことだけだったことがわかりました。

## 6月6日（金）



ヨハネ 3・14～15

ちょうどモーセが荒野でへびを上げたように、人の子もまた上げられなければならない。 14節

「さおの上のへび!」へびにかまれて毒がまわり、死にかけていた人々が仰いで見て、生きた!「さおの上のへび!」イエス様は、ちょうどこのへびのように上げられねばならないと、イエス様が言われます。そうです、イエス様はやがてかけられる十字架のことをおっしゃったのです。「それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである」(16)とあります。イエス様が十字架ですべての罪ののろいを受けてくださったので、仰いで信じると救われます。

いの

祈り 天のお父様、イエス様が私のために十字架にかかってくださったこと、私の罪をゆるし、永遠の命をくださることを信じ感謝します。

## 6月7日（土）



ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。 16節

あの最初の人と妻が木の実を食べて罪を犯したとたんに、救い主の預言がなされたのでしたね。一体、何年後のこと? いえ、何千年後ですよ! 約束のとおり、神様は、尊いたったひとりの、かけがえのないお方、イエス・キリストを天より贈りくださったのでした! それは格別の、超スペシャルな愛でした。そして、この御子を信じるならばひとりも滅びないばかりか、永遠の命が与えられるのです! たった一つの救いの道です。

いの

祈り 天のお父様、私の罪の代わりに十字架に死んでくださった救い主を心より信じて仰ぎます。救いを感謝します。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ガラテヤ 5・16～26

御霊の実

御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。ガラテヤ 5・22～23

目標

御霊の実を結ぶ者となる。

6月8日（日）

聖書  
聖句

ガラテヤ 5・22～23

御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。

22～23節

今日は、きっと心の中をてんけんする日になったかな？ どうだろう？ 心にいつもイエス様がいる？ お父さんお母さんといっしょにいと似てくるみたいにイエス様に似てきたかな。聖霊のパワーをいっぱいあびて、神様もみんなも自分もなっとくする良い実を実らせたいね。そのためには、イエス様からずっとはなれないことが大切だからね。

祈り

天のお父様、イエス様からはなれないでいます。あなたにもみんなにも喜ばれる御霊の実を実らせられますように。

6月9日（月）

聖書  
聖句

ガラテヤ 5・16

わたしは命じる。御霊によって歩きなさい。そうすれば、決して肉の欲を満たすことはない。 16節

わたしたちのまわりにはたくさんのルールがあるよね。学校のルール、スポーツのルール、自転車や自動車を運転するルール…。どれもわたしたちを安全に守ってくれるものです。

そして、聖書には、イエス様を信じて神様の子どもになったあなたへのルールがあるね。

そう。御霊によって歩くこと！ これが、あなたを罪から守り、悪魔に勝ち、神様によるこばれるために必要なことなんだよ。

祈り

天のお父様、罪や悪魔からわたしたちを守るために、「御霊によって歩く」というルールをくださりありがとうございます。

6月10日（火）

聖書  
聖句

ガラテヤ 5・16

御霊によって歩きなさい。 16節

聖書は、あなたに御霊を持っていなさい、ではなくて、御霊によって歩きなさいって言うているね。どういうことかわかるかな？

大切なプレゼントも、もったいなくてしまっているだけじゃなんの意味もないよね。それを使うとき、はじめてプレゼントのすばらしさがわかるんだ。

御霊のおくりものにはね、使えば使うほどあなたを変え、まわりの人を変える力があるんだ。罪に勝ち、神様によるこばれる人になることができるんだよ。御霊によって歩こう！

祈り

天のお父様、御霊を持っているだけではなくて、使うことができますように。そして、罪に勝っていくことができますように。

## 6月11日(水)

聖書  
聖句

ガラテヤ 5・17~18

肉の欲するところは御霊に反し、また御霊の欲するところは肉に反するからである。 17節

わたしたちの心の中には、神様によるこぼれたい思いと、たとえ悪いことでも自分かっにしたい思いとがあります。

こんなとき、あなたならどっちをとる？

神様はね、一人では罪に勝てないあなたが罪をおかさなくてもいいように御霊をくれたよ。

あなたがしなくてはいけないのは「罪と戦うぞ」という気もちを持っていることと、「御霊が罪に勝つための武器だ」って知っていることだね。御霊にたよううね！

いの  
祈り

天のお父様、自分の中にある罪に勝つためにも、いつも御霊にたよっていきましょう。

## 6月12日(木)

聖書  
聖句

ガラテヤ 5・18

もしあなたがたが御霊に導かれるなら、律法の下にはいない。 21節

御霊の人ってどんな人だろうね？

いつも自分でがんばってルールを守る人？  
なんとか自分で努力して自分を良くしようと  
している人？ いえいえ。ちがうみたいだよ。

ルールばかり気にしている人の心には喜びがなく、自分にだけじゃなくて、お友達にもきびしくなっちゃうね。

ルールにおさえつけられた人は、その心ま  
で変えられないけれど、御霊の人の心には、  
いつもイエス様がいて、心から喜んでイエス  
様といっしょに生きてゆけるんだ。やった～！

いの  
祈り

天のお父様、わたしも自分でがんばって  
実を結ぶ人ではなくて、心から喜んで  
イエス様といっしょに生きていく御  
霊の人にしてください。

## 6月13日(金)

聖書  
聖句

ガラテヤ 5・19~21

このようなことを行う者は、神の国をつぐことがない。 21節

あなたは御霊の人？ それとも肉の人？  
今日のみ言葉をよく見てかんがえてください。

もし、まわりの人が傷ついても自分が楽しく  
気分がいいと思うなら、あなたは肉の人。もし、  
あなたにとって神様よりも大切な何かがある  
なら、あなたは肉の人。神様が悲しんでも自分  
がやりたいことはやるなら、あなたは肉の人。

でも、そんな人が神様の子どもでいることも、  
永遠の命をもらうことも、神様のところに行  
くこともできないと、聖書は言っているのです。

いの  
祈り

天のお父様、今日は自分の心の中を、  
もう一度てんけんしました。あなたに  
喜ばれ、あなたのところに行ける子ど  
もにしてください。

## 6月14日(土)

聖書  
聖句

ガラテヤ 5・24

キリスト・イエスに属する者は、  
自分の肉を、その情と欲と共に  
十字架につけてしまったのである。 24節

イエス様の十字架を心にうけ入れたときの  
こと、おぼえてるかな？ そのとき、自分の「し  
てきた罪」がゆるさされただけと思う？

本当はね、それだけじゃなくて、あなたが「生  
まれたときから持っている罪の心」もいっ  
しょに処分しましたって言ってるんだ。

もし、悪魔が「それ、やっちゃいなよ」って  
あなたの心にささやくときには言っ  
てください。「わたしは罪をおかさない人につくりかえ  
られました！」ってね！

いの  
祈り

天のお父様、わたしのしてきた罪だけで  
なく、罪をおかす心も処分してくだ  
さったイエス様の十字架を感謝します。

ちちのひ  
父の日



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 5・43～48

天の父の愛

天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さるからである。

マタイ 5・45

目標

天の父なる愛を知り、どんな人をも愛する者となる。

6月15日(日)

聖書  
聖句

マタイ 5・43～48

天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さるからである。 45節

今日は、「お父さん、ありがとう！」の日曜日です。今日だけでなく、毎日、いつもそんな気持ちでいたいですね。特に「天のお父様」にはもちろんね！今週は大きな広い豊かな天の父の愛を聖書から学び、私たちもそんな愛で互いに愛し合える神の子どもにされましょう。天の父は悪者の上にも良い者の上にも同じように太陽をのぼらせ、雨を降らして下さいます。そんな天の父に、どれだけの人が気づいているのかしらと思ってしまいませんか？

祈り

天のお父様、あなたの愛はあまりにも広すぎます！あなたのこの愛にしっかりと目が開かれ、伝えていきたいです。

6月16日(月)

聖書  
聖句

マタイ 5・38～39

もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。 39節

天の父の広い愛に目が開かれていって、この父の子どもと生まれ変わってはじめて、イエス様が教えてくださることが実行できるのです。もしかして、お友だちから右のほっぺたをパチンとぶたれたら、あなたも相手のほっぺたをパチンパチンとぶってしまいませんか？「天の父の子どもはそうはしないのだよ」と、イエス様は言われます。右の頬を打たれたら、左の頬も、「どうぞ」って出すのですって！こちらは気持ちいいし、相手は「気持ち悪」って？！

祈り

天のお父様、そうしてこそ、本当の勝利なんだ、あなたの愛による勝利なのだとわかります。実行したいです。

6月17日(火)

聖書  
聖句

マタイ 5・40

あなたを訴えて、下着を取ろうとする者には、上着をも与えなさい。 40節

ユダヤの人たちにとって、昔、モーセの時代のころから、上着はとても大切なもので、たとえば、質に入れたとしても、夕方には返してあげなければなりません、神様の律法にさえ記されていたのです（出エジプト 22・26）。なぜなら、その上着を着て寝るからでした。寒い夜の毛布かわりだったのです。でも裁判で訴えてきた人が、下着を取ろうとするなら、下着はもちろん上着も与えなさいとイエス様は言われます。天の父の愛は徹底してますね！

祈り

天のお父様、昔の律法さえも超えてしまいうあなたの愛に圧倒されます。そのようにしてあなたの愛を示します。

## 6月18日（水）



マタイ 5・41

もし、だれかが、あなたをしいて一マイル行かせようとするなら、その人と共に二マイル行きなさい。41節

イエス様の時代、ユダヤの国はローマに支配されていて、急に仕事をさせられることが多かったのです。無理矢理一マイル先まで行きなさいと言われたら二マイルでも行きますという心でいなさいというイエス様の教えです。お父さんから、「あそここの店で買ってきて」と頼まれて、「いや！」「自分で行けば」とか言いますか？ そうではなく、「ハーイ！行って、買ってきますよ、他に買うものない？」と言うのが二マイル精神ですよ。スマイルでね！

いのちの祈り

天のお父様、無理矢理、何か頼まれても、いやがらないで、頼まれた以上のことを喜んでできますように。

## 6月19日（木）



マタイ 5・42

求める者には与え、借りようとする者を断るな。42節

天の父の愛は、いつでも相手のことを思い、相手の心を大切に、相手が望んでいることをしっかり満足させてあげたいという、思いやりいっぱい愛だということがわかってきませんか？自分のことしか考えられない人の心は小さく貧しい、愛のない心なのですね。だから求める人が求めてきたら、与えるのです。もちろん何を求めるかにもよりますが。借りたいという人には、断らないで貸してあげなさいと言われます。相手の人はどんなにか感謝でしょう。

いのちの祈り

天のお父様、あなたの愛にあふれた心がわかってきて、とてもうれしいです。求める人の心にこたえてあげたいです。

## 6月20日（金）



マタイ 5・43～44

敵を愛し、迫害する者のために祈れ。44節

昔ユダヤ人たちは、「隣り人を愛し、敵を憎め」と言っていたようですが、イエス様は、「敵を愛し、迫害する者のために祈れ」と言われました。これこそ、父なる神様の愛、ギリシャ語で特別な言葉を使いますが、『アガペーの愛』そのもので、愛のクライマックス（頂点）だと思います。「えーっ、そんなこと、敵を愛するなんて、できるの?!」と思うでしょう。その鍵は、『祈り』ですよ。迫害する者のためにも祈る、敵のためにも祈る（！）と、心が変わられていくのです。

いのちの祈り

天のお父様、お祈りは不思議で、素晴らしいものです。お祈りで、あなたの愛の空気が心に入ってくるのです。

## 6月21日（土）



マタイ 5・46～48

あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。48節

天の父なる神様も、イエス様も、神様なので「完全」です。でも、「私たち人間は、みんな罪人だったし、弱いし、そんな完全な人間になんて、絶対になれっこありませんよ」と思えますよね。もちろん、失敗したり、また罪を犯したりする私たち、そのつど、おわびし、十字架を仰いでゆるしていただきます。が、ここの「完全」は、「愛することにおいての完全」ですよ。「天の父のように、私も同じように愛していきます」という完全です。

いのちの祈り

天のお父様、あなたの愛に満たされ完全な者として生きて、まわりの人々にあなたのことを知らせてあげたいです。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 5・1～12

さいわいな人

こころの貧しい人たちは、さいわいである。天国は彼らのものである。

マタイ 5・3

目標

真に幸いな生涯の秘訣を知る。

6月22日(日)

聖書  
聖句

マタイ 5・3

こころの貧しい人たちは、さいわいである。天国は彼らのものである。

3節

イエス様は、ご自分を信じている人たちのしあわせを心からねがって、たくさんのお話をしてくれました。どんな人がしあわせなんだろう？

神様を知らない人たちのしあわせは、自分がせいこうしたり、だれかに「すごいね！」って思われることみたい。でも、そういうしあわせは、死んでしまえばおしまいだし、あらさんねん、それを神様がくれたものだとは知らないんだ。

すべてのものは神様がくれること、どんなときも神様がたすけてくれることを知っている心の人が、しあわせなんだよ。だってそのしあわせは天国についているもんね！

祈り

天のお父様、天国にまでつづくしあわせがわたしもほしいです。そういう心をもって生きていけますように。

6月23日(月)

聖書  
聖句

マタイ 5・4～5

悲しんでいる人たちは、さいわいである。彼らは慰められるであろう。

4節

悲しんでるのにしあわせ？ イエス様のおしえはときどきあべこべに聞こえちゃうかな？

この悲しみはね、心の中にある罪のこと。今まで神様にさからって自分かたに生きてきたことがわかる時「神様、ごめんなさい」と、罪をおわびする心に変えられていくよね。

神様にしか赦すことのできないこの罪を、悲しんでおわびできる心の人には、赦され、よろこばれ、天国ゆきの新しい命をもらって歩かだせるよ！ このしあわせはどこにもないね。

祈り

天のお父様、どんな小さな罪も、そのままにしておかないで、あなたにおわびできる子どもにしてください。

6月24日(火)

聖書  
聖句

マタイ 5・6

義に飢えかわいている人たちは、さいわいである。彼らは飽き足りるようになるであろう。

6節

わたしたちが「あれほしい！ これも！」って思うのは、おなかがすいたときや、自分が持っていないものをだれかが持っていたときかな？

でもね、今おはなししているのはそんなものじゃなく、神様の正しさを言ってるんだ。

「神様に赦されて神様の子どもでいたい！ 神様によろこばれたい！」と心から思い、しんけんに神様に聞き従うとき、あなたの心や生き方が、イエス様のような、神様によろこばれる人に変えられていくよ！ やった～！！

祈り

天のお父様、心や生き方が変えられて、イエス様のようにあなたによろこばれる人になってください。

## 6月25日（水）



マタイ 5・7

あわれみ深い人たちは、さいわいである、彼らはあわれみを受けるであろう。 7節

あなたの心<sup>こころ</sup>が、どんな大きな罪<sup>おお つみ</sup>を持っていたとしても、神様<sup>かみさま</sup>は赦<sup>ゆる</sup>してくださるお方です。だって、あなたを愛し、永遠<sup>えいえん</sup>に滅び<sup>ほろ</sup>なくともいようと、あなたの罪<sup>つみ</sup>の代わりに、ひとり子<sup>ひとりご</sup>イエス様<sup>イエスさま</sup>を十字架<sup>じゅうじか</sup>につけてくださったでしょう。神様<sup>かみさま</sup>のあわれみはこんなに大きいんだ！

だから、心<sup>こころ</sup>からそのことがわかったなら、「自分が神様<sup>かみさま</sup>に赦<sup>ゆる</sup>されたように、自分もだれかを赦<sup>ゆる</sup>す」人<sup>ひと</sup>になろうね。祝福<sup>しゆくふく</sup>があふれるよ！

いの

祈<sup>いの</sup>り 天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、イエス様<sup>イエスさま</sup>を身代わり<sup>みが</sup>にするほど、わたしを愛し、あわれんでくださり感謝<sup>かんしゃ</sup>します。わたしも、人<sup>ひと</sup>を愛し、ゆるせる人<sup>ひと</sup>にしてください。

## 6月26日（木）



マタイ 5・8

心<sup>こころ</sup>の清<sup>きよ</sup>い人<sup>ひと</sup>たちは、さいわいである、彼らは神<sup>かみ</sup>を見るであろう。 8節

人間<sup>にんげん</sup>が見ることができるのは、人<sup>ひと</sup>のすがたややっていることだけ。でも、神様<sup>かみさま</sup>は、そんなことであなたが良いか悪いかを決<sup>き</sup>めないで、いつもあなたの心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>を見ているんだ。

でも、人間<sup>にんげん</sup>のどりよくでは、心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>の罪<sup>つみ</sup>はきれいになることはありません。

心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>に、あなたの罪<sup>つみ</sup>の身代わり<sup>みが</sup>に十字架<sup>じゅうじか</sup>にかかってくださったイエス様<sup>イエスさま</sup>がいるとき、神様<sup>かみさま</sup>はあなたを「心<sup>こころ</sup>の清<sup>きよ</sup>い人<sup>ひと</sup>」と言われるんだ。

イエス様<sup>イエスさま</sup>が心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>にいるしあわせ！

いの

祈<sup>いの</sup>り 天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、わたしも自分の罪<sup>じぶんのつみ</sup>を自分でなくせません。でも、この罪<sup>つみ</sup>のために十字架<sup>じゅうじか</sup>についたイエス様<sup>イエスさま</sup>が、今日<sup>けふ</sup>も心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>にいてくれるからしあわせです。

## 6月27日（金）



マタイ 5・9

平和<sup>へいわ</sup>をつくり出す人<sup>ひと</sup>たちは、さいわいである、彼らは神<sup>かみ</sup>の子<sup>こ</sup>と呼ばれるであろう。 9節

イエス様<sup>イエスさま</sup>がわたしたちに愛<sup>あい</sup>やゆるしをくれたから、わたしたちの心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>はとても平和<sup>へいわ</sup>です。でも、あなたのまわりを見てみて。罪<sup>つみ</sup>をかかえて苦しんでいる人<sup>ひと</sup>、悲<sup>かな</sup>しんでいる人<sup>ひと</sup>、きずつけ合<sup>あ</sup>っている人<sup>ひと</sup>はいませんか？

ただ「かわいそう」と思うだけではなく、出て行<sup>い</sup>って、イエス様<sup>イエスさま</sup>がくれた、愛<sup>あい</sup>や、なぐさめや、はげましや、希望<sup>きぼう</sup>をとどけてみませんか？

わたしたちは平和<sup>へいわ</sup>をつくる人<sup>ひと</sup>にされた、神<sup>かみ</sup>の子<sup>こ</sup>だもんね！

いの

祈<sup>いの</sup>り 天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、わたしも、イエス様<sup>イエスさま</sup>がくれたたくさんのもの<sup>もの</sup>をとどける、平和<sup>へいわ</sup>をつくる人<sup>ひと</sup>にしてください。

## 6月28日（土）



マタイ 5・10~12

義<sup>ぎ</sup>のために迫害<sup>はくがい</sup>されてきた人<sup>ひと</sup>たちは、さいわいである、天国<sup>てんごく</sup>は彼ら<sup>かれら</sup>のものである。 10節

神様<sup>かみさま</sup>を信<sup>しん</sup>じる人<sup>ひと</sup>とそうでない人<sup>ひと</sup>の生き方<sup>いかた</sup>やかんがえ方はぜんぜんちがうね。そして、神様<sup>かみさま</sup>に従<sup>したが</sup>って生きるとき、まわりの人<sup>ひと</sup>から苦しめられることがたくさんあるんだ。

でも、悲<sup>かな</sup>しんじやいけないし、神様<sup>かみさま</sup>を信<sup>しん</sup>じることをやめちゃいけない！ だって、神様<sup>かみさま</sup>を信<sup>しん</sup>じて生きぬいた人<sup>ひと</sup>には「天国<sup>てんごく</sup>」というゴールがあるんだもの。罪<sup>つみ</sup>や、永遠<sup>えいえん</sup>の滅<sup>ほろ</sup>びにむかう生き方<sup>いかた</sup>からはなれて、さいこうのしあわせがある天国<sup>てんごく</sup>めざして生きていこうね！

いの

祈<sup>いの</sup>り 天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、わたしも、どんなことがあってもあなたを信<sup>しん</sup>じて生きて天国<sup>てんごく</sup>に行<sup>い</sup>けることほどしあわせなことはありません！





聖書  
テ—マ  
暗唱聖句

マタイ 5・13-16

地の塩・世の光

あなたがたは、世の光である。

マタイ 5・14

目標

地の塩、世の光として生きる。

6月29日（日）

聖書  
聖句

マタイ 5・14

あなたがたは、世の光である。14節

真っ暗なお部屋にゴミが落ちていても見えないけど、光がついて明るくなるとゴミが見えて、お片づけできるね。それと同じで、神様を知らずに生きている人たちの心と、この世界は、罪のゴミで真っ暗だけど、わたしたちの心は罪のゴミがかたづいてとってもきれい！そして、心を照らしてくれるイエス様がいつもいっしょ。

あなたが神様の言うことをきいてすごすとき、心が輝き、まわりにいるお友達は、「君の信じている神様ってすごい！心がきれいってすごい！」ってびっくりするよ！

祈り

天のお父様、わたしたちを世の光にしてください感謝します。もっともっと輝けますように！

6月30日（月）

聖書  
聖句

マタイ 5・13

あなたがたは、地の塩である。13節

わたしたちの体はお塩がないと生きられないって知ってる？それに、おにぎりやポテトチップスがあんなに美味しいのもお塩のおかげ。あとね、お塩がついてるとくさらない！目に見えないけれどちゃんと働いてるんだね！お塩！

イエス様はあなたも、人のために働くお塩だって言ってるよ。あなたがいないと困る！あなたがいるだけでみんなが悪魔というばい菌から守られたり、みんなの美味しいところ、すばらしいところをだしてあげる、そんなお塩みたいなあなたでいてくださいね。

祈り

天のお父様、わたしも、まわりの人を悪魔から守り、すばらしいところをひきだせるお塩のような人になってください。

7月1日（火）

聖書  
聖句

マタイ 5・15-16

人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。16節

神様がすばらしい愛の神様だってこと、どうすればみんなにつたわるか知ってる？

「神様はすごいよ」って言うことも大切。でもね、言うだけで終わっちゃいけないんだ。

聖書は、「それは、あなた！」って言ってるよ。神様から愛され、赦され、新しい命で生きているあなた、神様の愛をいっぱいもらって、知っているあなたが、今度はお友だちや家族に、神様からもらった愛をあげていく番なんだ。

そのときはじめて、「あなたを変えてくれた神様は本物だね」ってつたわるようになるよ！

祈り

天のお父様、わたしも、あなたが愛のお方であることを、自分のおこないでつたえていけますように。

## 7月2日（水）



コロサイ 4・6

いつも、塩で味つけられた、やさしい言葉を使いなさい。 6節

上手に味付けされたお料理を食べると、とてもうれしく楽しい気持ちになるでしょ！それからお母さんがあなたのことを考えて、バランスよく作ってくれるお料理は、あなたを健康にしてくれるね。

それと同じで、あなたの話す言葉にも味付けができるの！どんな風にお料理したらおいしくなるか考えるみたいに、どんな風にお話したら、お友だちや家族の人が喜ぶか、傷つかないか、元気になるか、言いたいことがつたえられるか、よく考えてから話そうね。

**いのり** 天のお父様、みんなに話すとき、まずい言葉ではなく、おいしく味付けされたことばで話せますように。

## 7月3日（木）



ヨハネ 8・12

わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであらう。 12節

懐中電灯やお部屋の電気をつけると、明るくなって安心するね。でも、懐中電灯も電気も、電池がなくなると消えてしまいます。それと同じで、心がいつも輝いているには、イエス様が必要なんだ。だって、わたしたちを罪と地獄に向かうまっ暗な道から救い、心を明るく照らしてくれるのは、イエス様だけだから！

イエス様といつもいっしょに歩み、イエス様が聖書から教えてくれる言葉を聞いて行う、光の子どもでいようね。

**いのり** 天のお父様、心を照らしてくださるイエス様といつもいっしょに生きてゆけますように。

## 7月4日（金）



I ヨハネ 2・10

兄弟を愛する者は、光におるのであって、つまづくことはない。 10節

教会に新しいお友だちが来たときに、あなたと、教会に来ているほかの友だちが、ケンカしたり悪口を言ったりしたら、新しいお友だちはきっとあなたたちにも教会にもがっかりするだろうね。

もし、「神様を信じているよ」と言っていて、お友だちと仲良くしないなら、あなたは光の子どもではないよ、と聖書は言っています。イエス様はあなただけでなく、みんなも愛してください。イエス様のように、まわりにいるお友だちを大切にする光の子どもでいようね。

**いのり** 天のお父様、自分の好きなお友だちだけでなく、ほかのお友だちも大切にできる、光の子どもでいさせてください。

## 7月5日（土）



エペソ 5・8～9

光の子らしく歩きなさい——光はあらゆる善意と正義と真実との実を結ばせるものである。 9節

神様の子ども、いつもイエス様といっしょに歩いている光の子どもの中には、だれにでも親切なよい心と、悪いことをきらい正しい心と、うそをつかない正直な心の実がなるんだ！

いつもいつまでも光の子どもでいるために、毎日、心の中を自分でぞいてごらん。親切じゃない心、悪い事を考える心、うそつきの心の実がなっていないかな。そういう心の実がなりそうなき、神様に「ごめんなさい」をして、きれいな心の実をつけてもらおうね。

**いのり** 天のお父様、この心の中にはときどき悪い実がなりそうになります。きれいな心の実をつけてすごせるように、悪い心の実をとってください。